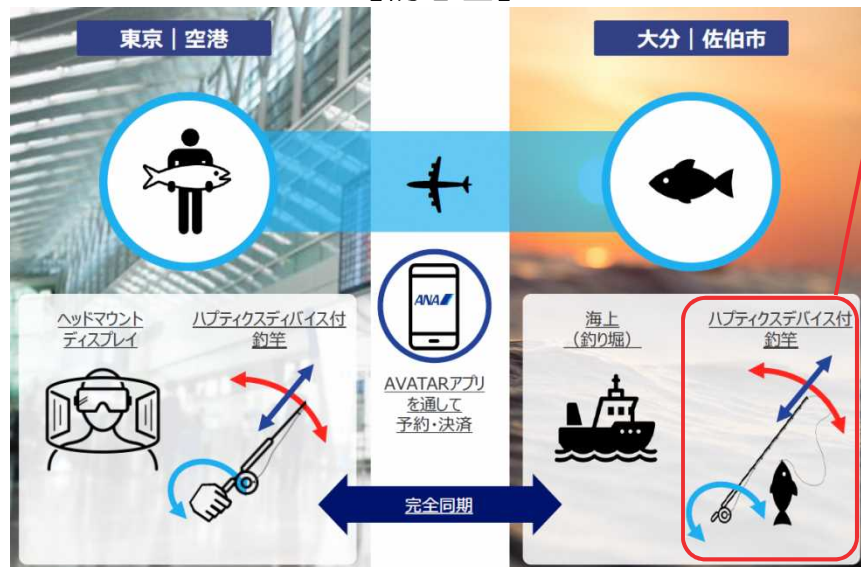


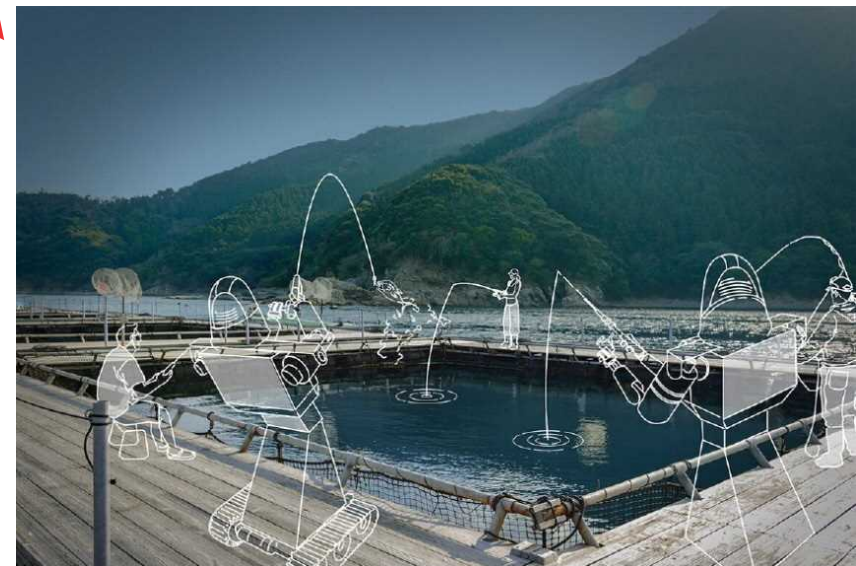
AVATAR FISHING (アバター技術を活用した世界初の遠隔釣り体験サービス実現プロジェクト)

- 本県に観光客が訪れる地域は別府市や大分市、由布市等に集中しており、県南部（佐伯市等）をはじめとするその他の地域にいかに回遊させるかは県観光の課題の一つとなっている。また、多くの観光施設では、土日比べて平日の稼働率が低調であり、生産性を上げることのできない一因となっている。
- 県南観光の資源である「海・魚」に着目し、県南部の釣り堀施設に釣り竿をもったアバター（遠隔操作ロボット）を設置し、力触覚（ハプティクス）技術や高速通信技術を用いて、遠く離れた東京や海外等から釣りを遠隔で疑似体験できるシステムを開発 / 実証する。
⇒大分県の温泉以外の魅力を発信し観光需要を呼び起こすとともに、観光施設の生産性の向上を図る

【構想図】



【釣り堀での体験イメージ】



(佐伯市蒲江地区の海上釣り堀「釣っちゃ王」等)

<p>事業実施主体 (コンソーシアム構成員)</p>	<p>(株)ケイティーエス (杵築市)、合同会社Re-al (神奈川県)、(株)シマノ (大阪府)、ANAホールディングス(株) (東京都)</p>
<p>サービス実証連携主体</p>	<p>(株)ナゴヤ (佐伯市)</p>